



越谷市議会議員

福田 あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 No.11 2014年新春号

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
TEL/FAX 048-978-3335
Mali info@akira-fukuda.com HP <http://akira-fukuda.com>



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

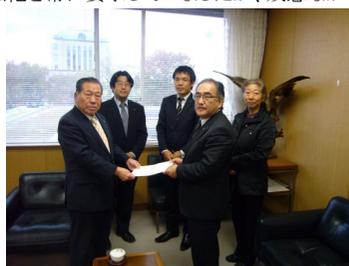
市民100人の声を集約 治水対策の鬼となる!

議会活動より

⇒治水対策強化要望書の提出

平成25年10月15日、16日にかけて10年に一度といわれる台風26号が発生しました。水害の被害が大きい地域に住んでいる私は、過去にも2回治水対策について一般質問し、ゲリラ豪雨についての対策の強化を常に要求していましたが、残念ながらこの度は、時間あたりの雨量が過去よりも多く、道路冠水、床下、床上浸水が数多く発生する事態となりました。温暖化の影響から異常気象が続く中、今後も発生するかもしれないゲリラ豪雨にどう立ち向かっていくのか? 真剣に考えていかなければなりません。26号の豪雨がおさまった後に、すぐに外に出て約100人の市民の皆さんから意見をお聞きし、それを会派の中心となってまとめ市長に「治水対策強化要望書」を提出しました。またその要望書の内容を中心に一般質問を実施しました。その内容を記載させていただきます。

(治水対策一般質問について中面に続く)



(会派で治水対策強化要望書を提出)



(道路冠水)



(排水ポンプの稼働をチェックする行政)



(雨水の影響でマンホールからあふれる下水)

12月議会・一般質問から

⇒河川沿い(新方川)の階段に手すりの整備を!



(河川沿いの土手にある急な階段)

新方川沿いの土手は、ご年配の方の散歩コースとして非常に良く利用されています。しかしその土手に上る階段は、通常より段差があり、危険である。地域の方より、手すりをつけてほしいという要望を数多くお聞きしていました。執行部に地域の声を届けたり、その必要性を伝えてきましたが、期は熟したと判断し、この度の一般質問で、本件を取り上げました。その結果、執行部からは、**地域の方と相談して、必要な場所に設置していきたい**との答弁をもらいました。実行にむけて確実な前進です。

12月議会・意見書/請願から(続き)

2014年4月の消費税増税中止を求める意見書提出に関する件

①国は1,000兆円の借金を抱え危機的財政状況にあること。②高齢化が進むなか、現在の年金・医療・介護のサービス水準を維持するだけでも、税金投入を毎年1兆円規模で増加させる必要があり、これらの財源が確保できなければ社会保障制度の維持すら困難になってしまう状況であること。以上の2つのことを理由に反対をしました。また逆進性対策として給付付き税額控除を実施していくことの必要性を合わせて主張させて頂きました。尚、本請願は反対多数により不採択となりました。

「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再利用を促進するための法律の制定を求める意見書」提出に関する件

現代社会はリサイクル(再生利用)が主流になってきている現状があります。しかしながら、循環型社会形成推進基本法の3R※からみたとときにより重要なのは、まさにリデュース(発生抑制)や、リユース(再利用)であり、この考えを進めることは必要であると考え賛成をしました。尚、本請願は全員一致で採択されたのち、意見書が可決され、国に提出されました。

※3Rとは(Reduce(リデュース) Reuse(リユース) Recycle(リサイクル))

高齢者肺炎球菌予防接種に公費助成を求める件

子宮頸がんワクチンについては、様々な副反応が発生しているのは、皆様ご存じだと思います。尚、杉並区では独自の公費助成をしていたため、本問題に対し、区独自の補償までして対応しているという現実があります。また肺炎球菌予防接種については、小児の例ですが、2011年3月同時接種以来8名の死亡事故の報告例などもあり、安全性への疑問は拭い去ることができません。そのため市の単独助成には慎重になるべきとの判断にて反対をいたしました。尚本請願は賛成多数により採択となりました。



※この度の活動報告レポートでは、記事のボリュームの都合により、月号掲載している「政策工程表」については省略させていただきます。

消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書について

中賢・低所得者層の方々への影響をできるだけ軽減したいという本意見書趣旨は私も賛同できる所です。しかしながら、軽減税率制度は、制度が単純で効果的に感じられるため一般的な理解が得やすいというメリットはあるものの、下記3点に大きな課題があると思われまます。

- ①高所得者ほど、負担軽減額が大きくなること
 - ②適応範囲を合理的に設定することが難しいこと
⇒また適応範囲の線引きにおいて利権が発生し公平性が阻害される可能性があること
 - ③事務処理が煩雑になること
- それらの理由と同時に逆進性対策として給付付き税額控除が望ましいと考え、本意見書には反対しました。尚、本件は可否同数のため議長判断により否決となりました。

福田 あきら(38歳) プロフィール

【所属会派】 民主党・市民ネットワーク
【その他役割】 土地開発公社理事、本庁舎整備審議会委員

【常任委員会】 民生常任委員会

1975年 越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
1982年 清浄院幼稚園卒園
1988年 越谷市立桜井南小学校卒業
1991年 越谷市立越谷北中学校卒業
1994年 埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
1998年 法政大学法学部法律学科卒業
2000年 現:伊藤忠テクノソリューションズ(株) 入社
⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
2011年 越谷市議会選挙に挑戦し当選

●資格 基本情報技術者/宅地建物取引主任者等
●家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
●サッカー選手としての経歴
・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)
・水戸ホーリーホック【現】リーグ2部
・全国社会人サッカー選手権大会優勝
福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝
など三度の日本一を経験
・現在、越谷市サッカー協会副会長を拝命

★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00 大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみ対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。



12月議会・一般質問から(続き)

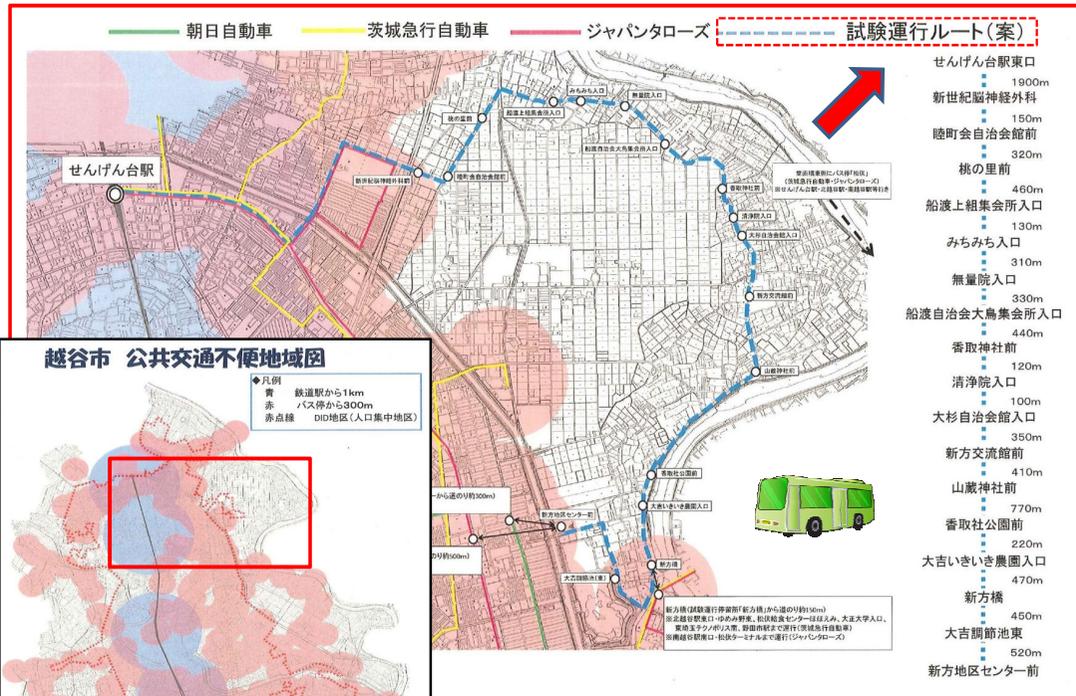
◆治水対策強化についての一般質問(約100人の市民の皆様の意見をもとに質問)

番号	要望・提案・質問内容	成果
1	市民が排水ポンプの稼働の可否を容易に把握できる状況にすること 具体的には、御料堀ポンプ場や十両堀配水機場のような稼働ランプを設置すること ⇒(答弁)予算の範囲で順次実行していきたい	◎
2	排水ポンプ場一覧表、ゲート一覧表(設置場所、排水量、遠隔操作の可否などを記載)を作成し、市民に配布すること、また排水ポンプ場やゲートに大きな番号を振り、わかりやすくすること (市民からの問い合わせの精度向上に貢献、不確定な情報が拡散することを防ぐ) ⇒(答弁)自治会の防災組織などと検討しながら報告する内容について検討していきたい	○
3	排水ポンプ場やゲートの点検の強化と台風接近等の前に稼働を事前確認すること またごみが詰まって排水ポンプが稼働しない例が多いと思われ、改善をすること ⇒(答弁)今も実行をしているが、体制の変更などを行い監視・点検を強化していきたい ごみ詰まりなどの対策も出来るかぎり強化していきたい	○
4	排水ポンプ場やゲートなどの機器を操作できる技術者の教育と確保に努めること ⇒(答弁)職員および委託業者の技術レベル向上(教育)と連携の強化、合同訓練などを行う	◎
4'	水害発生時における自治会を中心とした市民の協力体制を確保すること ⇒(答弁)市民の方と相談をしながら何が出来るのか検討をしていきたい	-
4"	消防団に水防団機能をそなえ地域の水防を強化するという案は? ⇒(答弁)将来に向かって検討をしていきたい	-
5	排水ポンプの能力増強、仮設排水ポンプの保有台数を増やすこと ⇒(答弁)ポンプ場の排水量については一定の制限がある。今は制限一杯の排水量を有している 排水量の制限の変更は簡単ではないが、継続して県としっかりと話し合いを続けていきたい 移動式応急排水ポンプについては、局地的な浸水対策には効果があるため今後検討していく	○
6	過去に浸水等が発生した地域において内水ハザードマップを作成すること ⇒(答弁)平成25年度内での作成およびホームページでの公開を目指す	◎
6'	内水ハザードマップの中に下記3点を記載するように要望 ①水害発生時に車を避難できる場所の指定を考えること ②車両の道路冠水予想箇所の指定と車両侵入対策を強化をはかること ③十分な数量の土のうを確保し、その保管場所を明記すること ⇒(答弁)①~③などの記載内容については今後検討	-
7	水害発生時に雨水が下水に入ること。また下水管から下水があふれる状況にたいしての対策を実施すること ⇒(答弁)現在も雨水が下水に流入する対策を実施しているが、継続して下水管の適正管理につとめたい	-
8	貯水機能をもつ公園の更なる設置など、河への排水以外の対策を検討すること ⇒(答弁)昭和60年から流域貯留浸透事業を進め成果をあげている。 更なる貯留施設の建設は調査研究をしていく	-
9	避難勧告などの情報発信について ⇒(答弁)様々な最新の情報を総合的に判断して、様々な手法(HP、Cityメール、防災無線、地域FM(今後))を取り入れ、最前を尽くしたい	-
10	治水対策強化なくて、市長の決意は? ⇒(答弁)安心・安全のまちをつくるためには治水対策は必要である。台風26号の経験を必ず活かし対応の強化をはかっていきたい	○

◎・・・実行が確実なレベル ○・・・前よりも前進したレベル
-・・・今後の調査研究、もしくは現状維持レベル

交通不便地域にコミュニティバスを!

私が参加していた公共交通網整備推進特別委員会での提言を受けて、交通不便地域の解消にむけた取り組みが動きださそうです。本件は、3月定例議会で予算が通った後に具体的に検討が始める事業(予定)です。



※12月定例会前に、執行部から本案が示されました。これは予算が通りもし実現されたとしても、あくまで試行であり、正式ではありません。一定期間運行してみて、地域の皆様がしっかりとバスを利用して頂き、採算がある程度見込まれることが継続の条件であると考えられます。まず私はこのバス運行が、しっかりと実行されるように活動していきたいと思います。

12月議会・意見書/請願から

詳細はブログをチェック!

「議会は言論の府のはず・・・」 辻浩司議員に反省をもとめる決議について

議会初日の12月2日、私の所属する民主党・市民ネットワークは、「特定秘密保護法案の強行採決に抗議し、慎重な国会審議を求める意見書案」を提案しました。議会運営委員会にて自由民主党市民クラブ、公明党越谷市議団の両会派は「本意見書には緊急性がない」との意見をのべ、全会一致が原則である議会運営委員会では、合意が得られず本議会で提出することは見送られました。これに対し辻浩司議員が「自民・公明の不当な反対で、意見書の提案そのものを阻止されました」とツイッターに投稿したところ、最終的に両会派から、「辻浩司議員に反省をもとめる決議について」が提出されました。私は、本件は「緊急性があり」本議会で提出したうえで、議論をして可否の決定をするべきものだと思いますし、両会派の「緊急性がない」とした3つの理由には合理性がなく、辻議員の発言に問題はないと考えます。ただ両方の意見があるなかで、客観的事実に基づき自らの主張をただの議員が「なんのために、だれに対して反省する」のでしょうか?議員が一番重んじなければならぬ「表現の自由」はそんなに軽いものなのか?議会が「言論の府」と呼ばれるのはなぜなのか?と問いかけずにはいられません。深夜一時にまで及んだ議会は賛成討論を2名、反対討論を8名が行い、15対14で可決されました。正直残念でなりません。最後にフランスの哲学者のヴォルテールの言葉を紹介します。「私はあなたの意見には反対だ、だがあなたがそれを主張する権利は命をかけて守る。」これが本来議会のあるべき姿ではないでしょうか?

※詳細はブログ「福田あきらの政治家日記」12月13日 絶対反対!越谷市議会「辻浩司議員に反省を求める決議」
<http://blog.akira-fukuda.com/?eid=1005> を参照願います。